湖山西地区　地域づくり懇談会　　議事録

１　日　時　平成２６年８月２６日（火）　１９：００～２０：１０
２　会　場　湖山西地区公民館
３　出席者　地元出席者　　５４名
市側出席者　　７名
深澤市長、羽場副市長、井上農林水産部次長、澤田環境下水道部長
＜事務局＞馬場協働推進課長（司会）、酒本協働推進課主任、田中協働推進課主事

４　地域の重要課題について

１　湖山池北岸の公共下水道整備等について

＜地域課題＞

湖山池の水質浄化には、公共下水道の整備が大きく影響するものと思われますが、湖山西地区全体の整備実績、特に湖山池北岸の今後の年次別整備計画及び年度ごとの具体的施工場所について説明をお願いしたい。

また、下水道整備が終了している地域で、未だ下水道に接続していないアパート、民家も見られるので、接続の勧奨についての取組をお願いしたい。

＜担当部局の所見等＞

【環境下水道部】

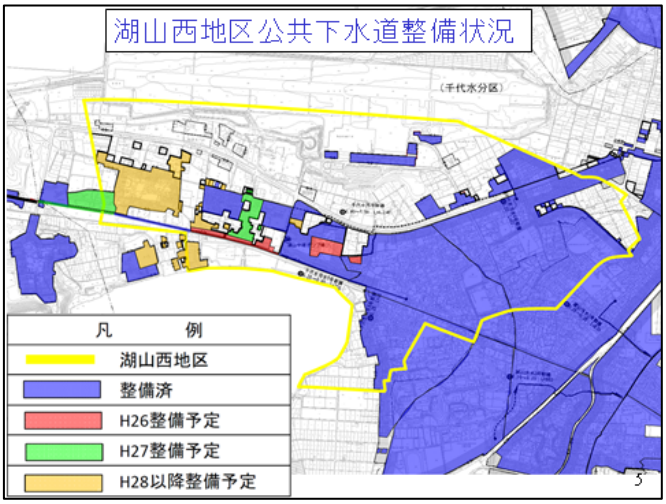
湖山西地区全体の整備実績、未整備区域（特に湖山池北岸）の整備計画については別図面のとおりです。

下水道への接続につきましては、湖山西地区を含む湖山池流域を重点区域として、今後も他の地域より訪問回数を増やし集中的に取り組む予定としております。

（環境下水道部長）

鳥取市下水道アクションプログラムの中でお示ししているとおり、湖山池の水質浄化には本市としても重点的に取り組んでおり、湖山池の流入汚濁負荷削減対策として公共下水道の整備を鋭意進めているところです。湖山西地区の下水は、イオン鳥取北店の東にある千代水クリーンセンターという処理場で処理することになっていますので、下水道整備後すぐに下水を使えるようにということで、処理場に近い地域から管路を整備しています。湖山池北岸地区は、ちょうど整備区域の西側の一番最上流に位置していることから、整備が進んでいない状況にあり、地区の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。

平成２５年度末の当湖山西地区の整備状況は、人口普及率で６５．７％、進捗率で９６．９％と、少し整備が遅れている状況です。申し訳ありません。黄色で囲んでいるところが湖山西地区で、青色のエリアが平成２５年度までに整備が終わっている区域です。湖山西地区については、平成１２年度以降、住宅地が密集している東側から本格的な整備に着手しています。東側の整備も終わり、今では西側の湖山池北岸側が未整備区域として残っています。赤、黄緑、薄茶色のエリアが未整備区域です。今年度は赤のエリアが整備予定です。湖山西１丁目では、湖東大浜の土地改良区付近と鳥取大学の白浜宿舎等の辺りです。湖山西２丁目では、堀越付近の旧９号線沿いの道路内に幹線の工事を予定しています。工事にあたっては安全に十分考慮しながら実施していきますが、周辺の皆様に極力ご迷惑をかけないよう努めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



なお、下水道事業は国の補助金をいただきながら整備を進めている関係上どうしても国の予算がつきにくい状態であることから、今後の年度別の整備計画や具体的な施工箇所について皆様にはっきりとご説明することができません。国の予算の目途がある程度明確になるのが１２月頃だと思いますが、毎年地元に出向いて説明をさせていただいていますので、ご理解ください。なお、平成２７年度は黄緑のエリアを整備予定です。湖山西２丁目では堀越の集落内、湖山西３丁目では交流センターや福祉センターの辺りの旧９号線で工事を着工していきたいと考えています。

また、薄茶色のエリアは２８年度以降の整備予定で考えており、現在の見込みでは、３２年度までの５年間で整備を完了したいと考えています。具体的に何年からということがお示しできませんが、下流にあたる東側から西側に向けて順次整備を進めていきたいと考えています。

続いて、接続等の説明についてご説明します。通常の地区は２年から３年に１回程度、各家庭に個別訪問していますが、湖山池周辺については１年に１回、重点的に促進活動を実施しています。整備済みのエリアの中で接続済みの家庭の率は９６．９％という結構高い率は示していますが、やはりまだ接続されてないところがあり、湖山西地区でも２５年度に約１００軒程度、個別に接続の促進を行っている状況です。現在未接続のアパート等につきましては、アパートの管理会社に対して接続依頼をしているのと併せ、所有者にも働きかけをしています。

また、専門の普及員２名が、整備後１年を経過した未接続世帯を個別訪問し、接続義務等のチラシを配布し説明しながら早期接続を依頼しています。しかし、金銭面の問題や、家を建てられるタイミングで接続を検討しているというような理由で、まだまだ未接続が多い状況です。下水道は、皆様が全て接続していただいて初めて効果が表れるものですので、今後とも早期に接続いただけるよう、粘り強く促進活動を行っていきたいと考えてい

ます。皆様におかれましても、地域活動等の折々に地域の皆様に声かけなどをしていただけたら非常に幸いです。

（地元意見）

アパート近辺の住宅に住んでおられる方から、下水が整備されていないという話を聞きますが、排水としてそのまま流れ出るので、前を通る時など臭いが出ていて迷惑だと言っておられます。法の拘束力というのか、法律でその辺りの調整はできないのでしょうか。

（環境下水道部長）

台所や風呂などから出る汚水等を側溝に流されている場合は、下水道が整備されてから概ね１年以内に接続しなければならないとされています。また、汲み取り便所等については、整備後３年以内に必ず改造することとされています。

そのことがあり、整備後１年経過してもまだ接続をされていない家庭に対して声かけを行っています。整備されてすぐの１年間はまだ接続期間内ですので、１年以上経過したのに接続されていない家庭について促進を図るということです。やはりどうしてもアパート等で町内会等に入っておられないなどの理由で接続が進まなかったり、臭いの問題等もありますので、市としてはアパートの管理会社や地権者の両方に、度々行かせていただいているという状況です。

実際には、金銭的な問題などにより接続されず３年経過することがあります。汲み取り便所については未接続の場合に罰則もありますが、実際そこまでしたことはありません。

（地元意見）

以前は合併浄化槽にすると補助金が出ていたはずですが、現在は出ないようになっています。いつ整備できるか分からないのに、なぜ補助金が出ないのですか。

（環境下水道部長）

下水道整備区域については、補助金は出ないことになっています。以前補助金が出ていたのは、その時はまだ整備区域になっていなかったからではないかと思います。

（地元意見）

いつできると分かっていればいいですが、２８年度以降ということしか分かってないのに、なぜ区域と区域外で差別するのですか。まだできないわけでしょう。汲み取りの家も何軒か残っているのですよね。それまで我慢できない人が合併槽にしたいと言って、なぜ補助金が出ないのですか。

（環境下水道部長）
そのあたりについては、再度調べさせていただきたいと思います。

＜担当課補足：下水道経営課＞
本市の合併処理浄化槽設置整備事業補助金の対象地域は、公共下水道事業認可区域及び農業集落排水整備区域等を除いた地域としています。
認可区域とは、下水道整備が計画された区域であることから補助対象外としています。
下水道整備予定区域でも整備時期が未定のエリアもありますが、公共下水道事業認可区域であれば、補助の対象外となることをご理解ください。

５　市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）
湖山西地区には、鳥取大学駅という非常に利用度の高い駅があります。過去何年かはそれほど自転車は多くありませんでしたが､便利であることから利用度が高くなっています。あそこはロータリー型の歩道が付いていますが、その歩道自体が意味を成していない状態です。大学駅は湖山西地区の１つの顔です。年に何回かは自転車の整理をしていると思いますが、回数を増やすなどして、正常な歩道として活用できるようにしてください。

（深澤市長）
自転車が歩道にあふれてきているということで、撤去というのは難しいかもしれませんが、実態を確認してもう少し改善に努めていきたいと思います。

＜担当課補足：道路課＞
学校への啓発を行うことが改善の効果があると考えますが、当面の対処法として回収回数を年間２回から３回へ増やします。

（地元意見）
９月１０日に鳥取市の総合防災訓練が実施されるとのことで、湖山西地区でも湖山小学校のグラウンドと体育館が第３会場として該当になっています。小学校の児童と地元、近隣施設も参加します。地区公民館も、地区防災計画で拠点としての役割もありますので、前日の会場準備を含め全員で対応することになっています。
この施設には、地区公民館以外にも市の関係部署が入っています。ところが、鳥取市主催の総合訓練なのに、市の関係部署は全員参加という意気込みがないと感じます。町内会長さんには、何とか仕事の都合をつけて参加してくださいとお願いしていますし、自治会役員には、有給休暇を取ってくださいとお願いしています。人数が少ないとか仕事が大変だというのも分かりますが、１０時から１２時までの２時間のことですから、その間だけ本庁から仕事の応援に来てもらうとか、部屋を閉めるなどして総合訓練に参加してもらっても、地元は何も言わないと思います。参加協力していただくよう、強く言いたいと思います。

（深澤市長）
９月１０日は鳥取市の防災の日ということで、昨年、議員発議で条例も制定いただき、今まで以上にしっかり取り組んでいこうとしています。この施設には、国際交流プラザと地域包括支援センターという市の関係機関がお世話になっていますので、全員というのは少し難しいかもしれませんが、当日は１０時から１２時の時間帯に何らかの形で防災訓練に参加ができるようにしていきたいと思います。

（地元意見）
この敷地内の駐車場の横にある大きな松が枯れているので、伐採していただけないでしょうか。小さい枝を切る程度であれば地元でもできますが、大きな松なのでお願いしたいと思います。今日明日ということでなくても良いですが、以前からお願いしているということですし、早いうちに伐採していただきたいです。

（深澤市長）
これについては対応させていただきたいと思います。

（地元意見）
湖山池の水質浄化対策については、鳥取市や鳥取県の水質管理などにより改善の方に向かっていると思います。湖山池では大きくておいしいシジミも好評ですし、秋ごろには遊覧船も運航すると聞いています。先日湖山池に関する会議の後で、湖山池のアザラシはいなくなったが湖山池のシジミは残っているので、何とかシジミの着ぐるみを大、中、小と作って湖山池を盛り上げて欲しいと県の職員に言ったら、笑って「検討します」と言われました。湖山池一周のコースも整備され、北岸の県営牧草地もグリーンスポーツ鳥取が借り受けて、今芝生化をして整備しておられます。
例えば市の花火大会を湖山池周辺でしていただいて、市民の皆さんに湖山池を見ていただいたら、再認識できるのではないかと思います。花火は東郷池でもしていますので、一考していただきたいです。

（地元意見）
シジミはスーパーマーケットにも出回って販売促進にもなっていると思いますが、湖山池のことを知っている人の中には、あんなシジミは食べないと言われる方もあります。湖山池のシジミは残留農薬や重金属類などを含まない安全でおいしいシジミだと、知事が食べておいしいから大丈夫ですと言うだけではなく、鳥取県に安全宣言を出していただけるよう、市長からお願いしていただけたらありがたいです。

（深澤市長）
漁獲ができるようになったわけですが、安全確認は鳥取県でしていただいていますので、もっと安全についての PR をしていきたいと思っています。

（地元意見）
　湖山地区は歴史があり、文化財的な物がたくさんあります。その歴史文化財的な物について、昨年湖山地区はヒストリーロードと称して看板設置や整備などをしておられます。湖山西地区は湖山地区に比べて歴史が浅いので湖山地区ほど多くの物はありませんが、地権者の方のご理解がいただけるようなら、説明看板のような物を設置していただきたいです。

＜担当課補足：協働推進課＞
　まちづくり協議会や町内会で取り組まれる場合は､｢鳥取市地域コミュニティ育成支援事業」がご利用いただけます。ただし、まちづくり協議会が主体となって行われる場合は、「地域コミュニティ計画」に基づいて実施される事業であることが必要ですので、地区において使途をご検討ください。

＜担当課補足：文化財課＞
　現在、指定文化財の説明板の設置・維持管理を優先して行っています。
　湖山西地区には国・県・市の指定文化財が所在しないため、文化財説明板の設置の予定はありませんが、今後、新たに文化財指定などがあった場合には、解説板の新設を検討します。

＜担当課補足：観光コンベンション推進課＞
　観光客の誘客に繋がるような素材があれば、地域や関係課と協議を行い、看板等の設置等について検討していきたいと考えます。

＜担当課補足：鳥取砂丘・ジオパーク推進課＞
　湖山西地区の歴史等を調べ、ジオパークとの関連性のあるものについては他の課と協力し看板設置を検討したいと考えます。

（地元意見）
　湖山池がジオパークに認定され、南岸には湖山池についての説明看板類が設置してありますが、残念ながら北岸にはないように思います。景観保護条例により大きな看板は難しいとは思いますが、足元を見ることによって湖山池が理解していただけるような、案内看板に類する物を設置していただけたらありがたいと思います。

（深澤市長）
　湖山池もジオパークエリアの中の代表的なジオスポットですし、北岸には以前は汽水湖と言いますか、海と直接繋がっていたという歴史もあります。地質学的な見地から見ても非常に興味深いと思います。そういう湖山池の歴史等も分かるような説明もあればいいなと思いますし、そのような取り組みが、まさにジオパークの評価に繋がっていくと考えます。今年は４年に１度の更新審査を受け、９月には結果が発表されると思いますが、引き

続き地域の皆様と一緒になって湖山池を大切にし、より広くＰＲできるような取り組みも考えていきたいと思っています。

＜担当課補足：鳥取砂丘・ジオパーク推進課＞
　南岸には湖山池情報プラザがあり、ジオパークの情報発信を行っています。湖山池情報プラザに併せて看板等を設置しているため、これまで北岸への看板設置は行っていませんでした。再認定された山陰海岸ジオパークをより広く知っていただくためにも、北岸の設置場所、条例等確認し看板設置に向けて検討したいと考えます。

（地元意見）
　先々日、湖山公民館で開催された懇談会で、湖山地区に図書館が欲しいとお願いしました。その時の市長の返答は大変難しいということでしたが、何かの新しい公共施設に、１部屋だけ図書ルームを作るとか、小さな図書コーナーを徐々に大きくしていくというような、少し譲歩した形で図書コーナーを作っていただけないでしょうか。湖山地区の子どもは、非常に多いです。湖東中学校は、今年度は南中学校に次いで県内２番目のマンモス校です。娯楽施設や大きな店舗はありますが、図書コーナーの設置によって子どもたちの教育に力の入った、整備の行き届いた湖山地区あるいは湖山西地区になってほしいと思っています。
　湖山池は、都市緑化フェア前後から美しくなりました。北岸の清掃も、地域住民が年に２回、大変熱心に行っています。花火が上がれば言うことがない、まさに鳥取の風光明媚な場所の１つになると思います。その辺りにもし公共施設が出来るようでしたら、図書コーナーを設けていただき、子どもたちが湖山池を見ながら読書をしたり、勉学に励めるような場所をお願いできたらと思います。

（深澤市長）
　読書に親しむことは非常に大切であると私も思いますが、先日の懇談会では、いわゆる新しい図書館を建設することは今の状況では少し難しいかと思う、とお答えさせていただいたことを記憶しています。ただご提案のように、いろいろな場所に、子どもさんが読書に親しめるような環境を整えていくことができればいいと、私も思います。例えば、各地区公民館には図書コーナーが設置されています。他の施設でも、図書が置いてあって読書ができるような環境づくりができればいいと思います。最近では、アメリカで取り組まれている事例を参考に、くる梨のバス停に本を置く取り組みもしています。いろいろな形で、そういう環境づくりに努めていきたいと思っています。

（地元意見）
　今日、国道９号線で鳥取市、鳥取県警、国交省、小学校教員とＰＴＡ会長、そして湖東中学校の先生との立ち合いで、通学路の安全点検がありました。９号線は、歩道は大変広いのですが、自転車で美萩野方面から来る中学生７、８０名と、班ごとに歩いて通学する湖山西小学校の児童１００名ほどが通学時間の３０分間にぐっと集中するため、ぶつかるなどして危険なことから、歩行者と自転車のラインを引いてはどうかという学校の要望に

より、現地確認に来ていただいたものです。
　立ち合いの現場では、ラインをどこに引くかなどの説明を受けたのですが、９号線は大人が大声で至近距離で話しても声が聞こえないくらいの、大変な交通量でした。時間は９時半を過ぎていましたが、車のラッシュと子どもたちの登下校が重なっている朝の時間帯は、なお一層の騒音だと思います。分離線についての話をしようと思って行ったのですが、そもそも「危ないよ」というコミュニケーションがとれるのであればぶつかることもないはずです。大人の会話すら成り立たないこの騒音の中では、そのようなコミュニケーションをとるのは大変困難だと思いました。
　そこで、北４丁目のパネルと同じような物がここの通学路にもあれば、騒音も、子ども達が車の風にあおられるというようなこともなく、安心して通学できるのではないかと思います。ラインも必要ですが、パネルの設置も考えていただけるとありがたいと思いました。

（深澤市長）
　防護壁の１つだと思いますが、あのパネルを全体に設置することはなかなか難しいかもしれません。それよりも、中学生が登下校時に安全に留意してお互いに声をかけるなど、安全に配慮することを心がけてもらえるような指導も必要ではないかと考えます。
　今日の点検には鳥取市も参加させていただいたようですので、そういった実態も踏まえて対応をしていくように、担当課に申し伝えたいと思います。

＜担当課補足：学校教育課＞
　この点検により、国交省鳥取河川国道事務所で、自転車と歩行者の通行場所を明示するよう、歩道に区画線を引き、先端部に「自転車」・「歩行者」の文字の路面標示を実施されました（平成２６年１１月２２日対策完了）。湖山西小学校・湖東中学校では、児童・生徒に安全に通行するよう今後も指導していきます。

（地元意見）
　水道管は耐用年数が４０年などと言われているようですが、今のところ多くの自治体では５０年を過ぎても更新が追いついていないという状況もあるようです。水道管の更新等の計画や進捗状況はどのように進んでいますか。

（羽場副市長）
　毎年、老朽管と水道管の耐震化工事を取り組んでいます。地震の時に外れたりしないようにと鉛管や老朽管の付け替えをしており、この工事の進捗率は２４年度末で７７％です。地下埋でありなかなか進まないということがありますのでご理解ください。

（地元意見）
　新庁舎移転問題に関連して、今の市民会館を今後どのように更新又は修理するのか、お考えをお聞きしたいです。

（深澤市長）

市民会館については、市役所本庁舎と併せて耐震調査を行った結果、我々が考えていた以上に耐震性があり、天井にブレースを入れることでかなり強度が保てるという結果が出ました。現在は客席等を少しリニューアルし、当面は継続して使用していこうと考えています。ただ、昭和４２年築で建築年数が経過していますので、いずれまたどうするかという問題が出てくると思います。鳥取市内には、２，０００人収容のホールをもつとりぎん文化会館、９００人収容の市民会館、そして５００人収容の文化ホールや県民ふれあい会館といった、大、中、小のホールがあり、それぞれご利用いただいている実態があります。市民会館も、９００人規模のホールとしての需要があるため、もう少し年数が経てばどうするかという問題が出てくると思います。今、公共施設の更新問題が、鳥取市はもとより全国の自治体で非常に大きな課題となっています。今年、公共施設白書を作り、市民会館等を含め市全体でこれからどのように考えていくかという方針をまとめようとしています。

当面は、今のまま使用していく方針ですので、ご理解いただきたいと思います。

（地元意見）

当面は補強してこのまま使用し、いずれ何らかのことを考えるのであれば、市庁舎と同じではないですか。市庁舎も耐震をすればもう少しはもつが、いずれは更新しないといけません。それならもう一緒に建て替えをして、例えばダウンサイジングして両方とも一つの建物に入れるよう、今決断してはどうかと思います。

（深澤市長）

市民会館と比べると、残念ながら今の本庁舎は耐震性が非常に悪いという調査結果が出ています。ＩＳ値の目安は０．６で、これを下回ると非常に危険な状況になるということですが、本庁舎は、震度５や６の地震がくると非常に危ない状況であるとされる０．２という数値でした。実は以前、平成７年の阪神淡路大震災の発生を受け、鳥取市の庁舎は大丈夫だろうかということでその翌年にも一度調査したことがあります。その時の結果は、震度５強の地震で中波という結果でした。この中波というのは、壁に亀裂が入って相当危険な状況になるという値です。

自治体の庁舎に対する補助制度はありません。しかし今なら、合併特例債という非常に有利な制度が活用できます。また、相当大きな建物なので、事業費も何十億単位でかかるということもあり、できる限り負担が少なく二重投資にならないような選択をしなければなりません。このように、市庁舎と市民会館とでは少し扱いが異なりますので、本庁舎については速やかに正しい形で結論を出していく必要があると考えています。そしてやはり、移転新築が正しい選択ではないかと考えています。

有利な財源を活用して安全安心を確保すること、また、私達の次の世代に負担やつけを先送りしないこと、こういう視点で判断をしていかなければならないと考えますので、そのあたりも併せてご理解ください。

（地元意見）

市長は、新築移転を訴えて４月に当選されましたが、今の庁舎に関する進捗状況はどう

なのでしょうか。

（深澤市長）

なかなか進捗していない、というのが今の状況だと思います。

平成２１年度から、庁舎の問題を研究、検討していく目的で、鳥取市議会に庁舎特別委員会が設置されました。それから約５年が経過しています。この５年間に住民投票も行われました。現在の状況ですが、特別委員会では、耐震改修は現実的ではないのではないかというところまで話を整理されました。そして、新築するべきだというところまで議論を進められていると承知しています。あとはどこに新築するのが良いのかという場所の問題に収れんしてきていると思います。

９月５日から始まる９月定例会で､特別委員会がまとめと報告をされると聞いています。閉会中の今も、特別委員会を何度か開催し議論を進めておられると伺っています。議会で報告されたら、執行部もそれを受けて、そろそろこの問題を終息させ前に進めていかなければいけないと考えています。この問題をいつまでも先送りにするということがあってはならないと思っています。

６　市長あいさつ

限られた時間の中で多くの皆様からご意見ご提言をいただき、心から感謝申し上げます。下水道についてはいつできるのだというお話もありましたが、２８年度以降整備予定の部分についても、できる限り早い段階で計画的に進めさせていただけるよう努力していきたいと考えています。その他、湖山池、通学路の問題、図書館について、そして庁舎についてなど、幅広くご意見ご提言をいただきました。なかなか今すぐに対応させていただけないようなこともありますが、しっかり受け止めさせていただき、できるところから対応させていただきたいと思っています。

本日の懇談会にご出席いただき、長時間にわたってご議論いただいたことに重ねて感謝申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。